

大腸ステント安全手技研究会

第17回運営委員会・世話人会

日時：2020. 6. 30

メールにて配信

1 ご挨拶

齊田芳久

運営委員・世話人・会員の皆様には本研究会に対しましてご理解と多大なるご支援をいただいておりますこと、あらためまして心より御礼を申し上げます。今般の新型コロナウイルス感染症の影響に伴い第17回の大腸ステント安全手技研究会運営委員会・世話人会は、メールでの審議とさせていただきます。本来5月の開催予定でしたが、COBRA Trialの進捗状況報告やプロトコル改訂などの手続きの報告が諸事情でなかなか進まず遅れました。残念ながらまだその項目につきましては現時点では報告出来なままです。申し訳ございません。

緊急事態宣言が解除された現在も感染拡大のリスクは続いており、予断を許さない状況です。感染拡大のリスクを最小限とすることを第一とすべきと考え、研究会におきましても秋の第9回研究会学術集会は一年の延期にしたいと思います。

最後になりますが、全国各地で、新型コロナウイルス感染症対応にご尽力されている全ての医療者の皆様に心より敬意を表します。

2 世話人会

議事

(1) 庶務報告/会計報告 会員数 486名 賛助会員9社 榎本俊行
今年度より賛助会員種別が変更になります。6月以降、賛助会員の種別選択をしていただく予定です。会計報告は別紙の通りです。東邦大学の炭山先生と慶応大学の北川先生に監査していただきました。

(2) 第9回大腸ステント安全手技研究会学術集会について 大木岳志
2020年11月6日（金）午後の予定でしたが、新型コロナウイルス拡大に伴い、学会の多くが中止や延期されていることや今後の感染の動向がふまえて、齊田先生と大木先生と相談し、今年の研究会は延期したいと考えております。開催はいまのところ2021年11月5日（金曜日）予定です。

(3) COBRA Trialについて

吉田俊太郎

登録総数は118例です。登録期間の延長などプロトコール改訂が必要です

(4) CODOMO Studyについて

遠藤俊吾

緊急手術103例、大腸ステント113例、経肛門イレウス管85例で論文作成中です。今後の学会発表は大腸肛門病学会でパネルディスカッションのみです。論文はもう少しで完成します。ESGE guideline up date 2020が公表になったための手直し中です。論文投稿後は、腫瘍マーカーや好中球/リンパ球比などもデータがありますので、切り口を変えた発表を考えたいと思います。

(5) Jentlly stentの臨床試験について

伊佐山浩通/村上 敬

現在(2020年5月24日時点)の症例登録数は86例と、目標の200症例にはまだまだであります。引き続きおおくの症例登録をお願い申し上げます。また、登録いただきました症例の患者情報や手技の詳細に関する情報につきましても、登録が完了しているのは24/86例(28%)とこちらも不十分です。後日まとめて入力するのは大変ですので、少しずつでも入力の完了をしていただけるようお願いいたします。

(6) Niti-S MDtype の臨床試験について

桑井寿雄/田丸弓弦

7施設から28症例の登録をいただいております。(別紙参照)

(7) HANAROSTENTの臨床試験について

齊藤修治

7施設から35症例の登録をいただいております。(別紙参照)

配付資料:

会計報告書・Niti-S 試験に関して・HANAROSTent 試験に関して